

学科紹介

商船学科

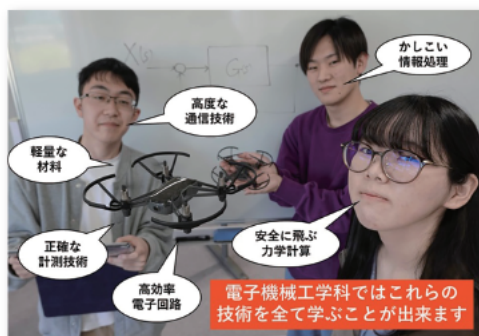
商船学科は、航海コースと機関コースで構成され、2年生までは共通科目を学習します。3年生以降それぞれのコースに分かれ、航海学及び機関学の専門分野をより深く勉強します。現在の船舶は、大型化、高速化及び自動化へと進展しています。船を安全かつ経済的に船舶運航することを遂行するために、様々な専門知識と高度な技術が必要とされます。本学科では、一般的な工学的基礎に加えて最新で高度な海事関連知識と技術まで教授し、専門性と応用力の高い実践的な海事技術者の育成を目指しています。そのため、専門科目では、幅広い分野の学問を学ぶとともに実験・実習といった実技科目が多く導入されたカリキュラムとなっています。



商船学科5年生 大島丸実習(航海船橋)

電子機械工学科

最近における電子技術・コンピュータ技術の進歩は著しいものがあり、これが機械技術や計測技術と結びつき、複合化されることによって機械装置の機能が大幅に向上しています。ロボットはその代表的な存在です。さらに、IoTなどの通信伝送技術と組み合わせられることにより、各種の機械装置がネットワーク化され、有機的・組織的な生産活動が展開されつつあります。本学科は、このような時代に対応するため、電気電子工学と機械工学の2分野を中心とし、これにAIの礎となる情報処理・計測制御などを含めて幅広く学習します。学習内容を基礎理論と実験実習の両面から実施することにより、応用能力の高い、実践的なメカトロニクス技術者の育成を目指しています。



電子機械工学科で学んだ内容を踏まえた自律制御ロボット(ドローン)の制御実験

情報工学科

わが国の産業社会は、情報技術と通信技術が高度に融合したICT(Information and Communications Technology)社会に対応するために積極的な展開を図っています。しかしながら、実際のフィールドでは情報システムを適切に取り扱える人材の不足、ソフトウェア開発に従事する人材の水準の低さ、などが大きな問題となっているのが現状です。

本学科は、これらの問題に対処するために、学科理念を「高度ICT社会に対応できるエンジニアの育成」とし、情報処理と情報通信を柱とする豊富な専門知識の修得を目指します。創造的な演習や活動的な実習を通じて柔軟で創造的なシステムデザイン能力を養います。



警察と連携したサイバー犯罪抑止のための防犯ビデオ作成と報告風景

学科紹介

一般科目

一般科目は、専門科目とともに、優れた技術者を育成するため、広く社会的視野に立って物事を理解できる教養豊かな国際人となること、また、専門的知識や技術を身につけるために必要な基礎知識を修得することを目的として、教育課程が編成されています。

高等学校と大学教養課程に対応するものを効率良く学習できるように、主として低学年に多く配分し、専門科目との密接な関連を保つよう配慮されています。



国語の授業

専攻科

●海洋交通システム学専攻

国際・国内の海事クラスター（海運業、造船業、船用工業、港湾運法務行、金融業、保険業など）で活躍できる海事技術者の育成を目的としています。また近年海運会社では、船員業務だけでなく船舶運航管理や物流管理などの管理部門の役割が非常に大きくなっています。この船舶運航管理は、運航管理と機関管理からなっています。商船学、物流管理を必修専門として学び、運航管理及び機関管理を選択専門とします。そうすることで、運航技術と管理技術を兼ね備えた人材を育成します。

専攻科修了後、大学評価・学位授与機構の審査に合格すれば「学士」の称号を得ることが出来ます。



舵やプロペラの模型を用いた演習

●電子・情報システム工学専攻

メカトロニクス分野とIT分野をシステム化した電子・情報システムに関する高度な研究開発ができる実践的開発技術者の育成を目的としています。そのため、電子・制御システム系、情報・通信ネットワーク系の高度な専門知識と技術を教育し、これらの複合領域に関する素養と国際化にも対応できる語学能力を備えた、実践的な研究開発能力を育成します。さらに、過疎化や高齢化が問題となっている地元地域に密着し、環境やエネルギー問題を考慮した社会システムの構築に貢献できる総合力も育成します。

専攻科修了後、大学評価・学位授与機構の審査に合格すれば「学士」の称号を得ることが出来ます。



創造工学演習発表会